

令和元年度版 『会津若松市の環境』

～平成30年度実績報告～



環境フェスタ



市民環境教室（会津若松ウィンドファーム）



猪苗代湖畔のクリーンアップ

会津若松市

はじめに

本書は、本市における平成30年度の「環境調査結果」及び「環境保全への取組」並びに「環境基本計画に基づく環境施策の実績報告」という位置づけで作成しております。

市民の皆様には本書を広くご活用いただき、本市の環境の現状と環境に係るさまざまな取組について、理解を一層深められるとともに、自然と歴史に彩られた会津若松市の豊かな環境を将来に引き継いでいくための具体的な行動のきっかけとなることを念願しております。

会津若松市環境基本条例 前文

わたしたちのまちには、雄大な自然と史跡若松城跡に代表される豊富な歴史的文化遺産の中で、今日まで着実な発展を続けてきた。

しかしながら、近年の都市化の進展や生活様式の変化等に伴い、本市においても新たな課題として都市型及び生活型公害の発生や廃棄物の増加及び不法投棄等の問題が顕在化してきており、さらに、元来自然が持つ浄化能力を上回る生産活動や消費活動そのものが直接、間接に地球規模で環境に影響を与えていることから、新たな対応が求められている。

健全で恵み豊かな環境の下に、健康で文化的な生活を営むことは市民の権利であり、わたしたちは、この良好な環境を保全及び創造し、将来の世代に継承していくべき責務を有している。

このような認識の下、市民、事業者及び行政のすべての者の協力と働きかけによって、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築し、人と自然が共生できる会津若松市の実現を目指し、この条例を制定する。

目 次

第 1 章 会津若松市の概況

会津若松市の概況

1. 地 勢	1
2. 気 象	1
(1) 気温の変化	1
(2) 降水量と日照時間	2
(3) 年間降雪日数と最深積雪量	2
3. 交 通	3
4. 人口及び世帯数	3

第 2 章 第 2 期環境基本計画の概要

第 2 期環境基本計画の概要

1. 本市の望ましい環境像	4
2. 環境基本計画の基本目標と個別目標	5
3. 平成 30 年度 環境目標進捗状況一覧	7
4. 市域全体の温室効果ガス排出量（推計値）状況一覧	8

第 3 章 環境基本計画に基づく事業 ～平成 30 年度 取組実績～

第 1 節 平成 30 年度 取組実績一覧

第 2 節 平成 30 年度 取組内容

〔基本目標 1 きれいな環境で、安心して健康に暮らせるまちをつくる〕

事業番号 1 農業用使用済プラスチック適正処理事業（農政課）	14
事業番号 4 公共下水道・農業集落排水・個別生活排水・浄化槽設置整備事業 （下水道課）	15
事業番号 8 環境放射線調査事業（環境生活課）	16

〔基本目標 2 緑豊かで、住んでいて心地よく、人と自然が共生するまちをつくる〕

事業番号 11 赤井谷地保存整備事業（文化課）	17
事業番号 12 花と緑の推進事業（花と緑の課）	18
事業番号 13 野生生物生息環境保全事業（環境生活課）	19
事業番号 15 グリーンツーリズム支援事業（農政課）	21
事業番号 16 猪苗代湖環境保全推進事業（環境生活課）	22

〔基本目標3 地球温暖化を防ぐため、環境と事業活動が調和したまちをつくる〕

事業番号 17	住宅用太陽光発電システム設置補助金交付事業（環境生活課）	24
事業番号 18	再生可能エネルギー推進事業（環境生活課）	25
事業番号 19	庁舎の省エネルギー対策（総務課）	27
事業番号 20	地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）の推進（環境生活課）	29
事業番号 22	学校版・家庭版環境マネジメントシステムの普及（環境生活課）	／
事業番号 23	地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進（環境生活課）	31
事業番号 24	北会津支所エネルギー管理事業（北会津支所まちづくり推進課）	34
事業番号 25	電気自動車推進事業（環境生活課）	35
事業番号 28	一般廃棄物処理基本計画（ごみ処理基本計画）の推進（廃棄物対策課）	37

〔基本目標4 環境保全をともに学び協働するまちをつくる〕

事業番号 29	森林環境整備（交付金）事業（農林課）	40
事業番号 30	森林環境学習事業（学校教育課）	41
事業番号 31	各種環境教室や環境講座の実施（環境生活課）	42
事業番号 32	ホテル祭り（北会津支所まちづくり推進課）	44
事業番号 34	ポイ捨て・犬ふんマナー向上市民会議（環境生活課）	／
事業番号 36	犬ふん放置防止の周知活動（健康増進課）	45
事業番号 35	不法投棄監視員及び生活環境保全推進員によるパトロールの実施 （廃棄物対策課）	46

〔その他の取組〕

■環境フェスタの開催	47
■生涯学習出前講座の実施	48

第4章 公害・環境の現状と対策

第1節 環境に関する苦情

1. 苦情の概況	49
2. 公害苦情への対応	49

第2節 大気汚染

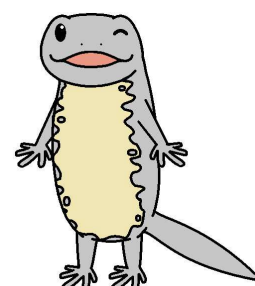
1. 大気汚染とは	50
2. 環境基準の設定	50
3. 監視測定局の設置	50
4. 大気汚染物質の測定結果	51
5. 酸性雨及び酸性雪調査	52
6. 大気汚染を防止するために	53

第3節 水質汚濁

1. 貴重な水資源	54
-----------	----

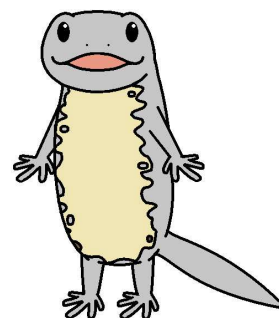
2. 環境基準の設定	54
3. 公共用水域水質調査	54
4. 猪苗代湖および流入河川水質調査	57
5. 猪苗代湖の現状	
(1) 自然の浄化作用	60
(2) pHの中性化	61
(3) 猪苗代湖の大腸菌群数	61
第4節 化学物質等の監視・調査	
1. ダイオキシン類	62
2. 有機塩素化合物	63
第5節 騒音・振動	
1. 騒音に係る環境基準	64
2. 騒音調査結果	
(1) 環境騒音調査結果	64
(2) 自動車交通騒音調査結果	65
(3) 高速自動車道騒音調査結果	66
3. 騒音・振動の防止対策	
(1) 工場・事業場等の規制	67
(2) 建設作業の規制	67
(3) 飲食店営業等の深夜騒音	67
第6節 悪臭	
1. 悪臭防止に関する法・条例等による規制	
(1) 特定悪臭物質の規制	68
(2) 臭気指数による規制	68
2. 悪臭調査結果及び対策	68
第7節 環境行政組織	
1. 会津若松市の環境行政組織	70
2. 環境審議会	70
3. 環境管理委員会	70
参考資料（目次は別途）	71

ボク、会津若松市環境PR
大使のいいもりんです。
みんなで豊かな環境を守るモ
リン。



第1章 会津若松市の概況

はじめに、会津若松市を
取り巻く状況についてみ
てみるモリン。



会津若松市の概況

1. 地勢

会津若松市は、福島県の西部、会津盆地の東南に位置し(市役所本庁舎：東経 139° 55′ 北緯 37° 29′、海拔 218.32 m)、東は猪苗代湖に接し、南は大戸岳、布引山など諸山岳を境とし、西は会津盆地を縦断する阿賀野川水系阿賀川(大川)を越えて宮川までの田園地帯を形成し、市域面積は 382.99km²です。市街地は東から西へゆるやかな傾斜を示し、その中心を阿賀野川水系湯川が流れ、阿賀川へ注いでいます。

2. 気象

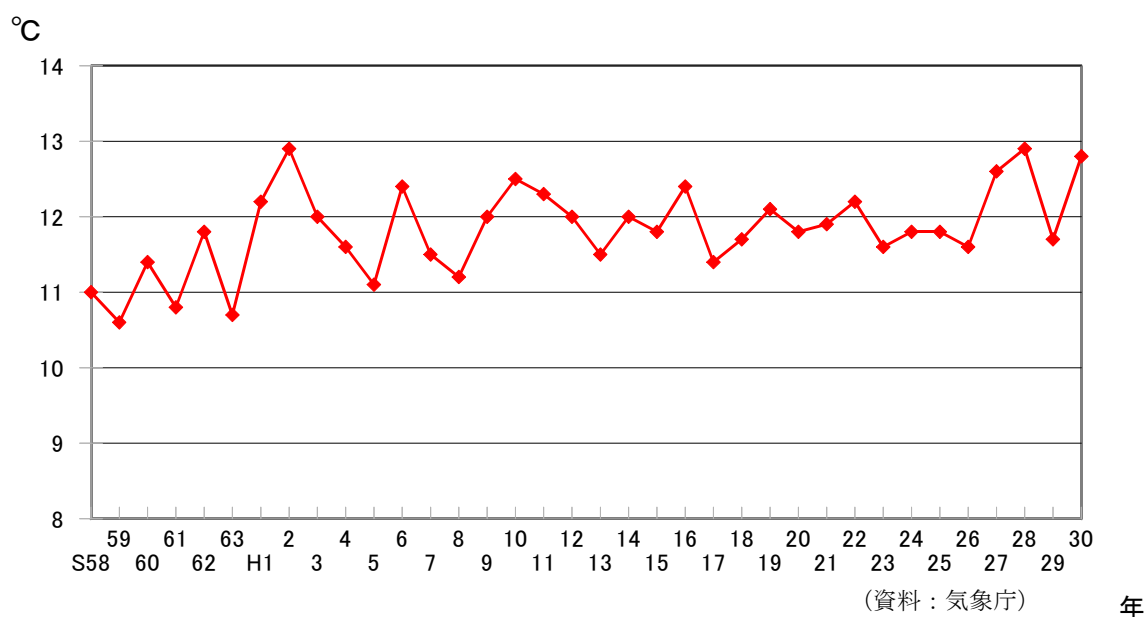
本地域は、四方を山々に囲まれた盆地であるため、内陸盆地特有の気候を示し、冬季は日本海側の気候となって好天が少なく降雪量が多く、雪に閉ざされた寒い日が続きます。

しかし、夏季は反対に盆地特有の高温の日が続き、春、秋はこれに内陸性の気候条件も加わって、日中と夜間の気温差が大きくなります。

(1) 気温の変化

市における気温の変化をグラフに示しました。観測地点は、若松特別地域気象観測所(材木町)です。近年、最高・最低気温ともに高めに推移しており、最高気温は平成 30 年 8 月 23 日に 38.5 度を記録し、猛暑傾向が続いています。平成 30 年は、平均気温が 12.8 度、最高気温 38.5 度、最低気温 -12.0 度でした。

◆若松特別地域気象観測所における年平均気温の推移

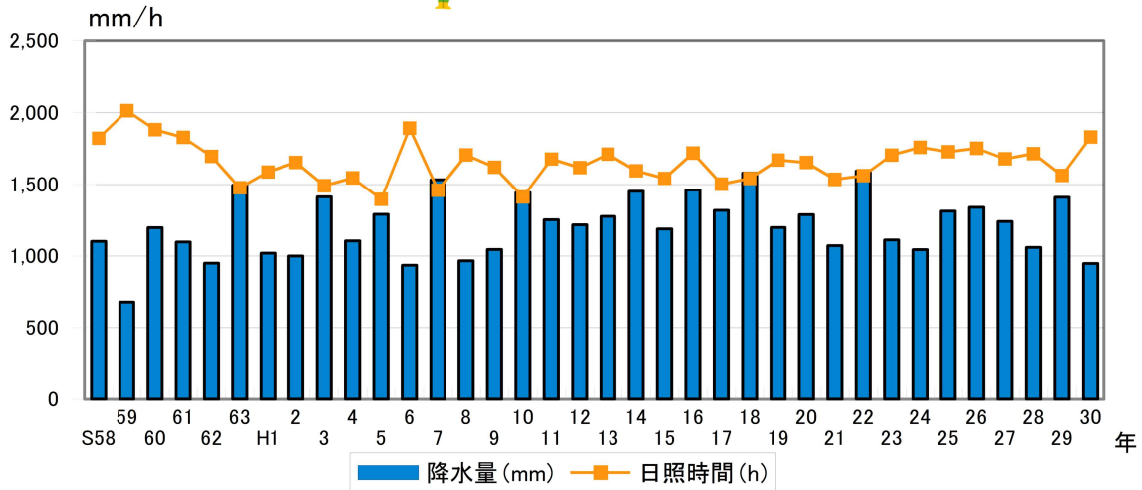


(2) 降水量と日照時間

市における年間累積降水量は約 1,200~1,300mm で、年により変動はありますが、比較的安定した降水量が続いています。年間を通した降水パターンは、6~9月の夏季に増加するのに加え、雪の多い冬季にも降水量が増加するのが特徴です。

平成 30 年の降水量は 947mm、日照時間は 1831.9 時間でした。

◆ 年間の降水量と日照時間



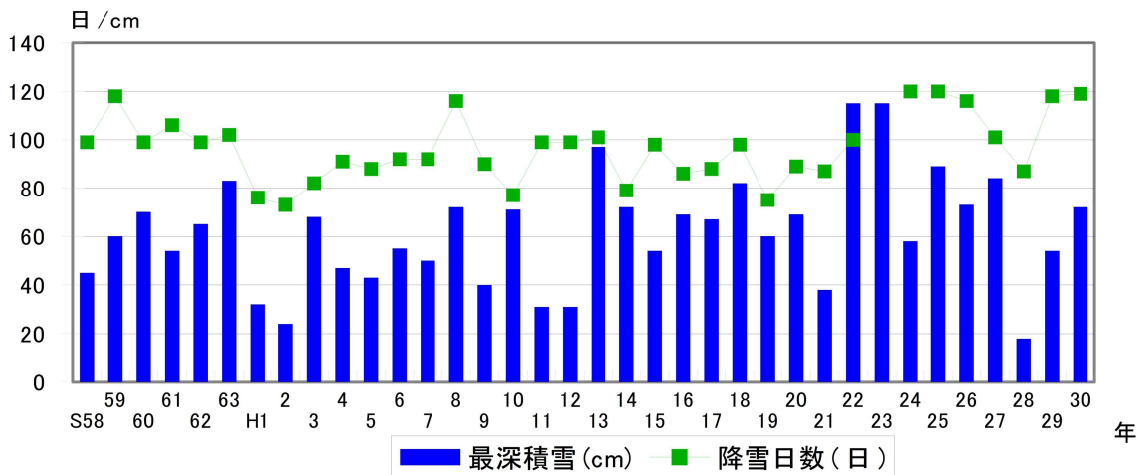
(資料：気象庁)

(3) 年間降雪日数と最深積雪量

降雪日数は年間 100 日程度で、過去 40 年間の最深積雪は 115cm (昭和 56 年及び平成 23 年) です。1 日の降雪量は、昭和 55 年 12 月 14 日の 98cm が過去最大の値です。

平成 30 年の降雪日数は 119 日、最深積雪は 72cm でした。

◆ 年間降雪量と最深積雪量



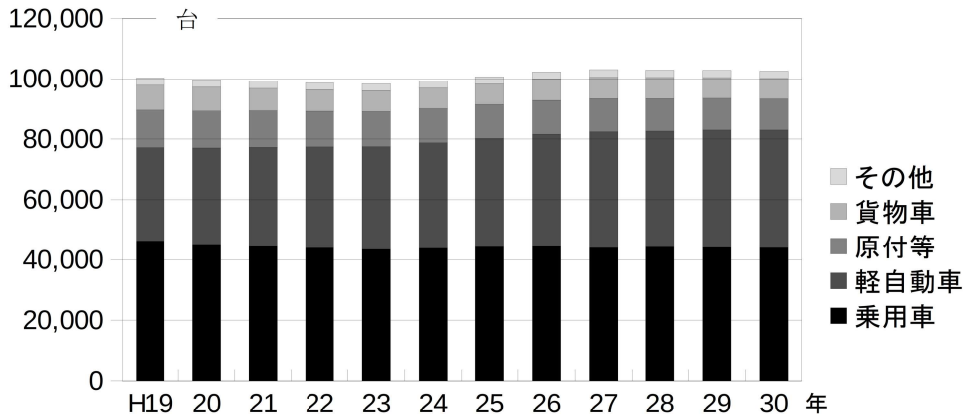
(資料：気象庁)

3. 交通

本市の公共交通機関としては、電車やバスなどがありますが、主に市民の足となっているのは自動車です。自動車等の保有台数は年々増加しており、市における自動車等の登録台数は、平成30年度は約103,000台でした。

市民およそ1.2人に1台の割合で、車両を保有していることになります。

◆ 本市における自動車等登録台数の推移



※ その他…乗合用車両、(大型)特殊用途用車両

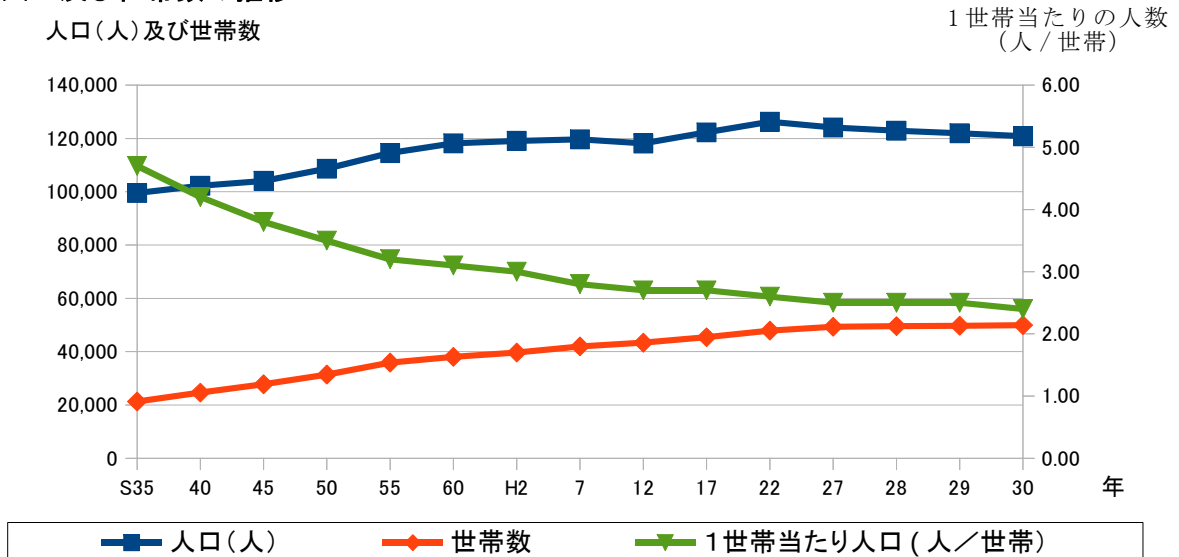
※ 原付等…原動機付き自転車、二輪の小型自動車、雪上車、小型の農耕用・特殊作業用車両

(資料：東北運輸局福島運輸支局及び市税務課)

4. 人口及び世帯数

本市の人口は、国勢調査等によると平成16・17年の旧北会津村・河東町との合併により16,000人あまり増え、平成30年10月1日現在の人口は120,841人、世帯数は49,939世帯、1世帯あたりの人数は約2.4人です。

◆ 人口及び世帯数の推移



(資料：国勢調査及び会津データ蔵)